

# 気仙沼 階上

## はしかみ 観光ガイドマップ

### みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイルです。その最大の魅力は、海の景観をダイナミックに感じるスポットの豊富さ。自然が織りなす圧倒的な美しさのなか、潮風にゆられながら進み、忘れられない感動を味わってください。

ジオパークとは、「大地の公園」を意味し、地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。岩井崎を含む三陸ジオパークは平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して気仙沼市までです。

岩井崎の先端部に立つ「龍の松」は津波によって幹や枝などに被害を受けたものの、残った姿が龍に見えることから「龍の松」と名付けられました。岩井崎から堂々と太平洋を見渡している「秀の山像」と「龍の松」は、気仙沼市民の復興のシンボルとなっています。



秀の山 雷五郎像  
気仙沼市階上地区出身の「第9代横綱 秀の山雷五郎」は、小柄ながら(身長164cm、体重158kg)でしたが、努力の結果38歳で横綱まで上り詰まりました。岩井崎にある「秀の山像」は横綱の名にふさわしく、東日本大震災の大津波にも耐え、立ったままの姿で残っています。



夕日撮影スポット  
秋(10月下旬から11月中旬頃)には龍の松にある空筒から夕日が差し込む光景が見られることがあります。その姿はまるで、龍の目が赤く光るよう見えます。



岩井崎の先端部に立つ「龍の松」は津波によって幹や枝などに被害を受けたものの、残った姿が龍に見えることから「龍の松」と名付けられました。岩井崎から堂々と太平洋を見渡している「秀の山像」と「龍の松」は、気仙沼市民の復興のシンボルとなっています。

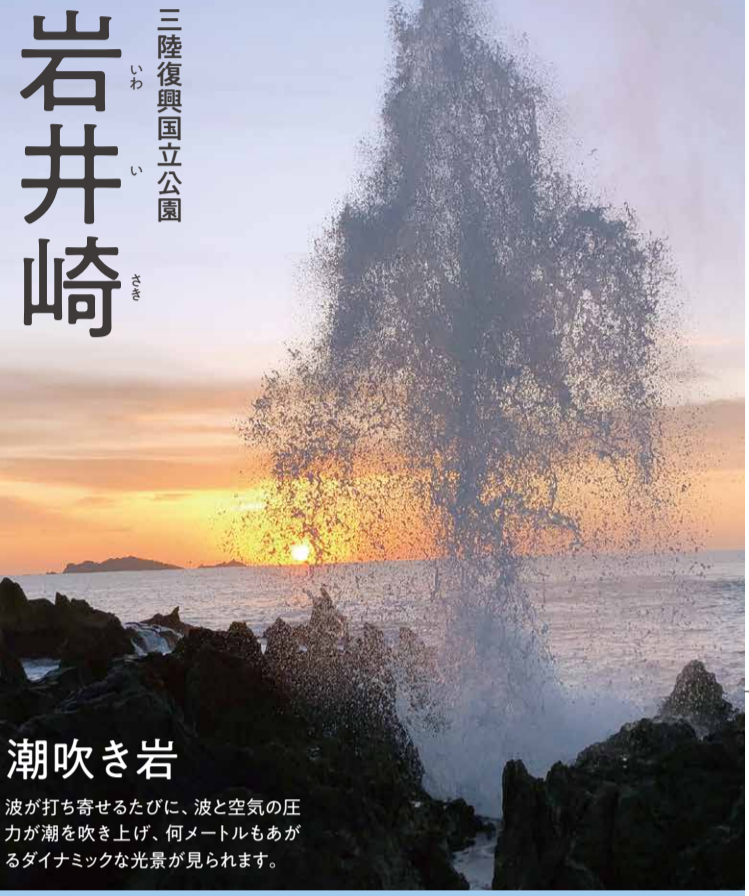
昔、兄弟が大波で遭難してしまい、帰りを待つお爺さんとお婆さんが手を合わせて祈る姿で岩となり「拜天岩」として残ったといわれています。



お伊勢浜海水浴場  
お伊勢浜海水浴場などを含み、希少な海浜植物を採取してお伊勢浜海水浴場の杉ノ下水門近くに海浜植物保護エリアを設け保護されています。ハマサジ、ハマナデシコ、ハマボソ、ハマヒルガオなどが見られます。



夕日撮影スポット  
お伊勢浜海水浴場から眺めるサンセットは絶景。ここが東北だということを忘れる美しさです。

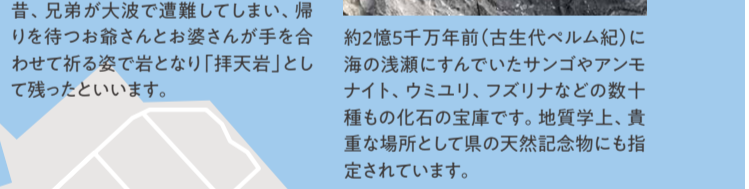


岩井崎の先端部に立つ「龍の松」は津波によって幹や枝などに被害を受けたものの、残った姿が龍に見えることから「龍の松」と名付けられました。岩井崎から堂々と太平洋を見渡している「秀の山像」と「龍の松」は、気仙沼市民の復興のシンボルとなっています。

岩井崎塩づくり体験館は気軽に塩づくりを行うことができます。塩はつくるにより味と量がそれぞれ違います。つくった塩は素敵なビンに入れて記念に持ち帰れます。



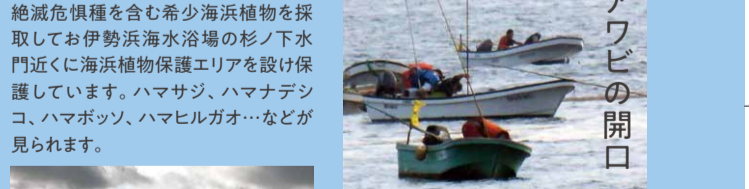
岩井崎灯台は、白亜の小型灯台です。この灯台は、1929年(昭和4年)の初点灯から、現在も湾内を見守り続けています。



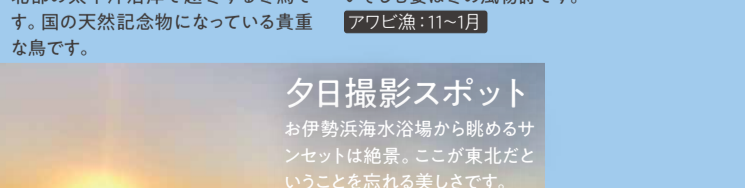
昔、兄弟が大波で遭難してしまい、帰りを待つお爺さんとお婆さんが手を合わせて祈る姿で岩となり「拜天岩」として残ったといわれています。



お伊勢浜海水浴場などを含み、希少な海浜植物を採取してお伊勢浜海水浴場の杉ノ下水門近くに海浜植物保護エリアを設け保護されています。ハマサジ、ハマナデシコ、ハマボソ、ハマヒルガオなどが見られます。



「開口」とは、アワビや夏に獲れるウニなどは資源保護の観点から漁獲管理が行われています。所属の漁協の漁業権を保有している方が、一ヶ月の間も天候や海の湧り具合などから判断し限られた数日のみ漁を行うことです。小舟に乗った漁業者が潮待ちの中、箱メガネで海中を覗き岩場にいるアワビを探し出し、長い竿を巧みに操って漁にそむく姿は冬の風物詩です。



### 特産品

#### 気仙沼いちご

三陸で採れるウニは殆どがムラサキウニで、自然豊かな海で育ったワカメやコンブなど、海藻をいっぱい食べて丸々に太り、まるやかな舌触りと甘味が強いのが特徴です。  
ウニ漁:5~7月

#### 南三陸ねぎ

柔らかく甘みと香りが高いのが特徴。津波の被害にも負けず育つ「南三陸ねぎ」。あらゆる困難を乗り越え立ち上る生産者の「あきらめない心」で育てられたねぎです。ねぎの圃場も津波により危険区域に区分され、農地として復旧した場所でもねぎを生育しています。  
収穫時期:10月中旬~1月末まで

#### 岩井崎の塩

岩井崎塩づくり体験館にある平釜で観光協会の有志が手塩にかけて作っています。ミネラルが豊富でふんわりきめ細かくまろやかな味です。

#### わかめ

三陸海岸は親潮と黒潮がぶつかり合う「混合水域」で、栄養豊富なプランクトンが多く発生し、多くの魚が集まり世界三大漁場といわれています。その三陸海岸で養殖されるわかめも栄養を豊富に含み、肉厚でやわらかく、かつ弾力があり、心地よい歯ざわりがよいわかめが育ちます。  
旬:1~4月

#### 牡蠣

気仙沼階上の牡蠣は、1年で10月から12月の3ヶ月しか漁を行わないため、その希少性と品質から築地市場でも高値を維持する最高級ブランド牡蠣です。強い競争意識を持ち生産者同士が切磋琢磨しながら、一粒一粒愛情込めて育てています。  
旬:10~12月

### 菖蒲沢

いにしへの水辺  
岩井崎インターそばに見える大きなため池。1547年(天文16年)、村が農業用の池をつくり、菖蒲沢のため池となりました。以来このため池は階上地区を潤してきました。気仙沼では珍しい淡水の大きな池であり、市民の憩いの場として親しまれています。

### 白鳥

晩秋になると多くの白鳥が飛来してきて、菖蒲沢で冬を越し、春先になると北へと帰っていきます。間近で白鳥を見られるスポットです。

### ゴルフ場からの眺め

気仙沼カントリークラブからは、階上地区と太平洋を一望できます。気仙沼湾から遠く、金華山まで見渡せる海洋の景観は素晴らしいです。

### 岩井崎IC

宮古方面からは岩井崎ICをご利用下さい。  
岩井崎ICは宮古方面出入口のみのハーフICです。また中型・大型・特大車流出不可となっています。

### 命を救ったケヤキ旭崎

旭崎と呼ばれる岬では8名がはしごを使ってケヤキの木に登り津波をやり過ごし一命をとりとめました。このケヤキの木は、明治三陸大津波の後、「樹木を命を救う」との考えから、植えられたものだそうです。

### 海の殉難者慰霊塔

海と共に生活してきた気仙沼市では、震災以外にも多くの漁業者が海の事故で亡くなっています。「海の殉難者慰霊塔」には、約600柱(2018年9月時点)が祀られており、毎年9月26日には「海の殉難者追悼慰霊法要」が行われています。

### 道の駅 大谷海岸

道の駅 大谷海岸 はまなすステーション  
はまなす海洋館 みちのく潮風トレイル



### 杉ノ下

東日本大震災 慰霊碑  
東日本大震災では、杉ノ下地区の高台を津波が襲い避難した多くの方が犠牲になりました。襲った津波の高さは約18mと言われています。2012年3月、「杉ノ下遺族会」により、避難場所だった高台に建立された慰霊碑には、子どもから高齢者までの約93名の名前、「絆 あなただを忘れない」と題するメッセージ、震災の爪痕の記録、そして、次の教訓が刻まれています。

### お伊勢浜海水浴場

震災直後、砂浜は流失し松林はすべて津波に呑み込まれ荒涼たる風景になってしまったが、防潮堤・養浜工事が施され、現在は震災前の穏やかな波と透涼の砂浜がよみがえりました。

### 道の駅 大谷海岸

道の駅 大谷海岸 はまなすステーション  
はまなす海洋館 みちのく潮風トレイル